

取り組みの課題

①－1 北陸地域の建設業の入職状況の現状

平成31年 1月29日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

北陸地域の建設業に関する雇用状況について

○北陸3県とも20代以下の雇用者割合がやや増加傾向であり、若手の採用が進んでいる状況が伺える。
○しかし、30代を含むとその割合は減少傾向で、次世代の担い手確保の面からみると未だ課題は残る。

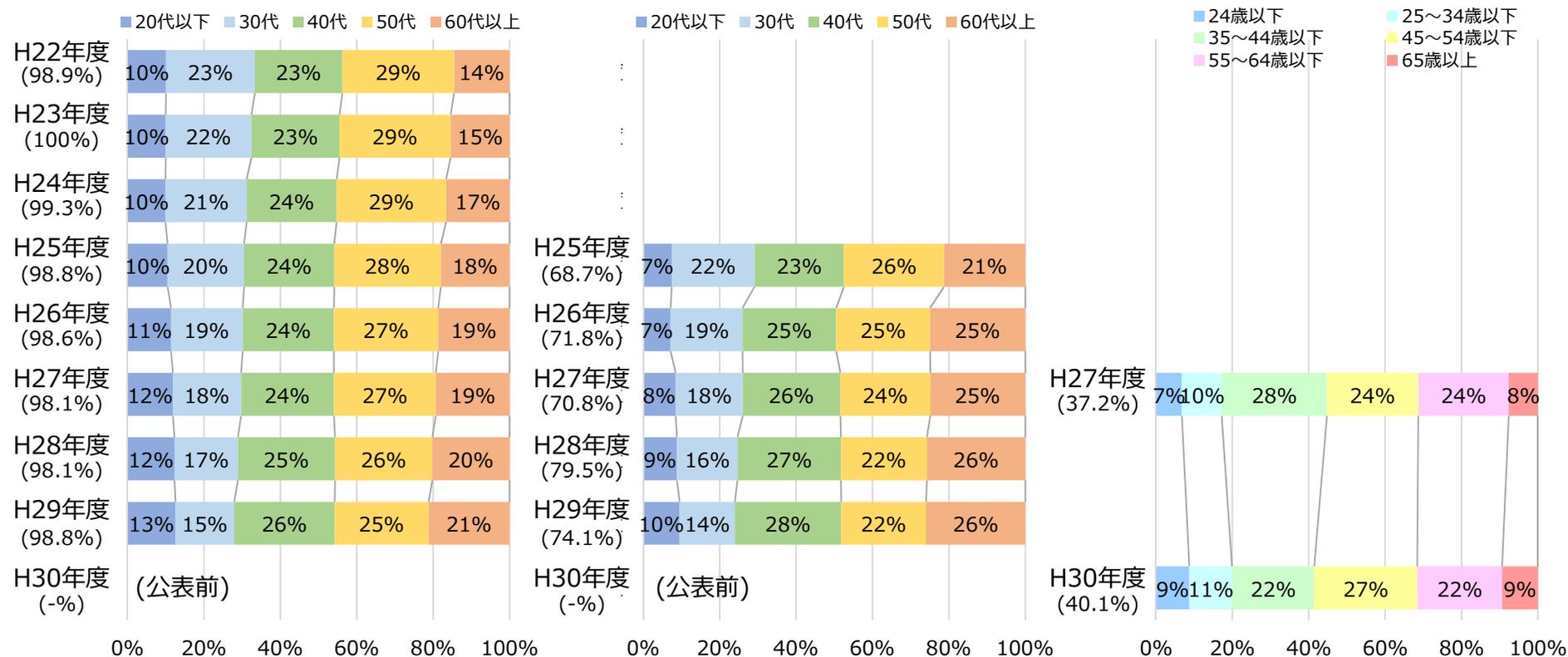
建設業の雇用者数(全職種)

※全職種 = 事務・営業、技術者、技能者

新潟県

富山県

石川県



出典:新潟県建設業協会、富山県建設業協会、石川県建設業協会の資料より

※.就業者数は、各県の建設業協会が県内会員企業に対してアンケートを実施して調査・公表を行っている。(石川県はH27年度とH30年度のみ)

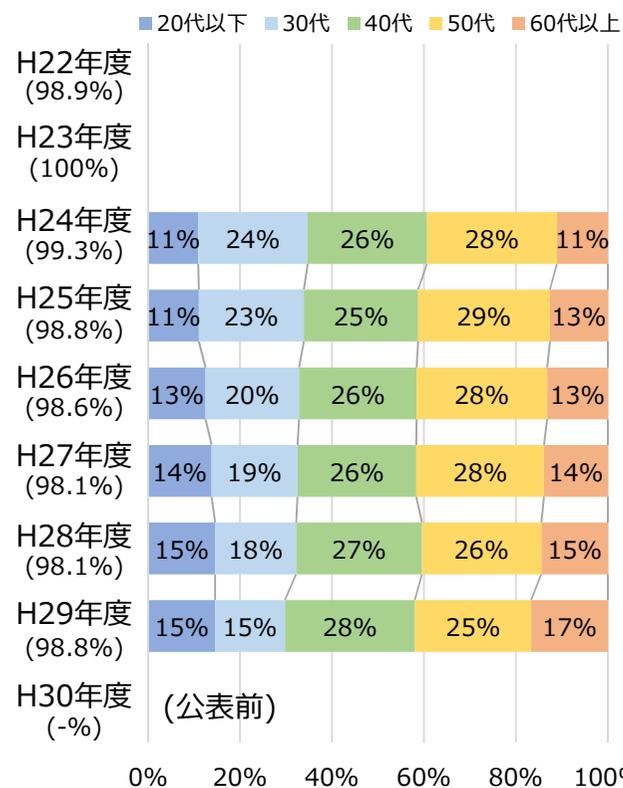
※.年度下段カッコ内は、各年度に実施したアンケート回収率(回答社数÷会員企業)

北陸地域の建設業に関する雇用状況について

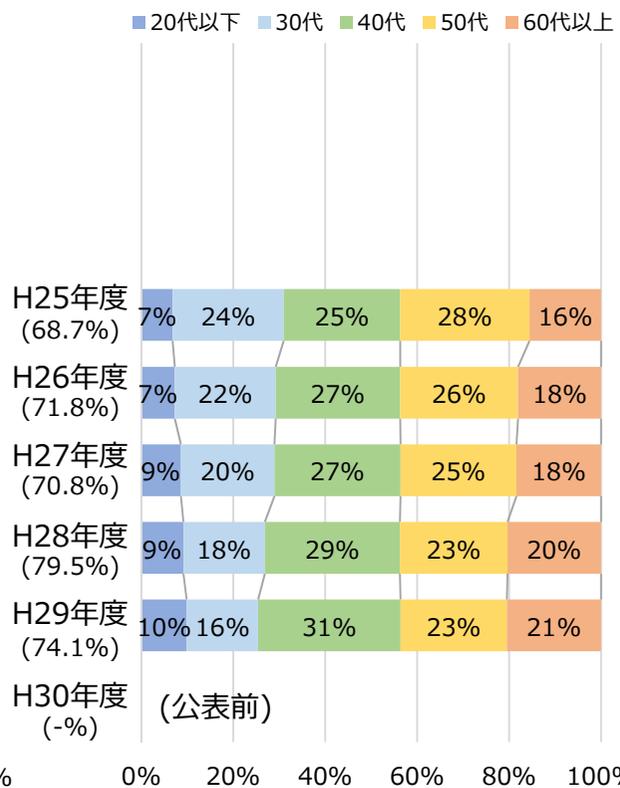
○技術者は20代以下の雇用者割合がやや増加傾向であり、若手の採用が進んでいる状況が伺える。
○しかし、30代の割合が減少傾向で、次世代の担い手となる技術者の確保が課題となる。

建設業の雇用者数(技術者)

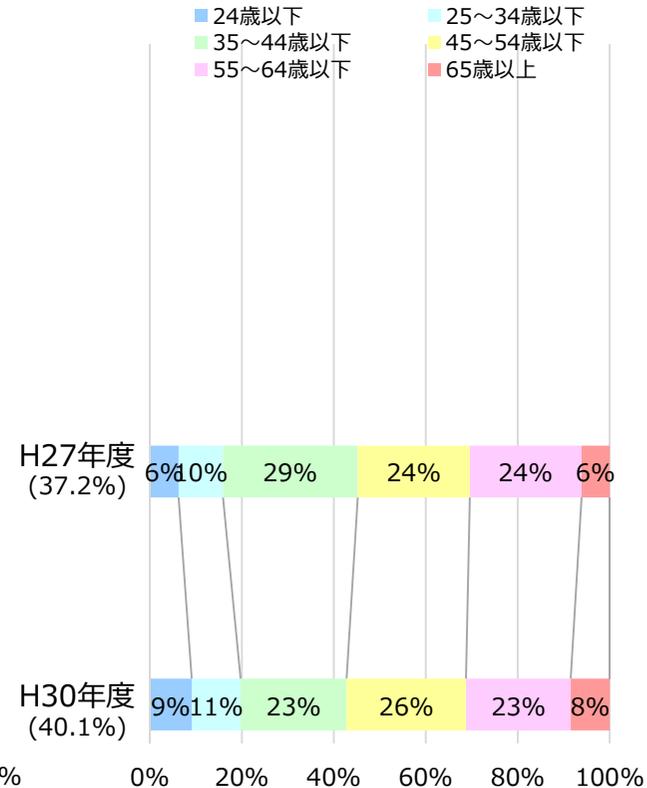
新潟県



富山県



石川県



出典.新潟県建設業協会、富山県建設業協会、石川県建設業協会の資料より

※.就業者数は、各県の建設業協会が県内会員企業に対してアンケートを実施して調査・公表を行っている。(石川県はH27年度とH30年度のみ)

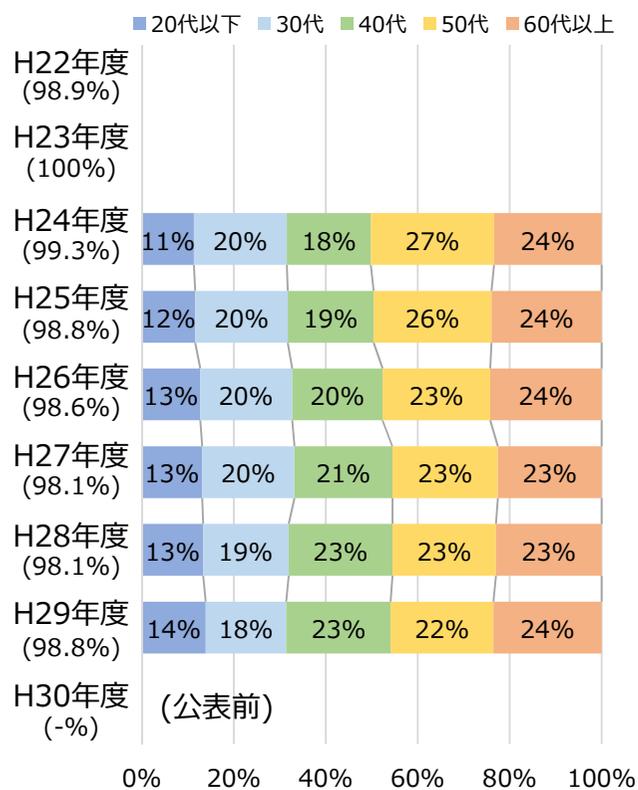
※.年度下段カッコ内は、各年度に実施したアンケート回収率(回答社数÷会員企業)

北陸地域の建設業に関する雇用状況について

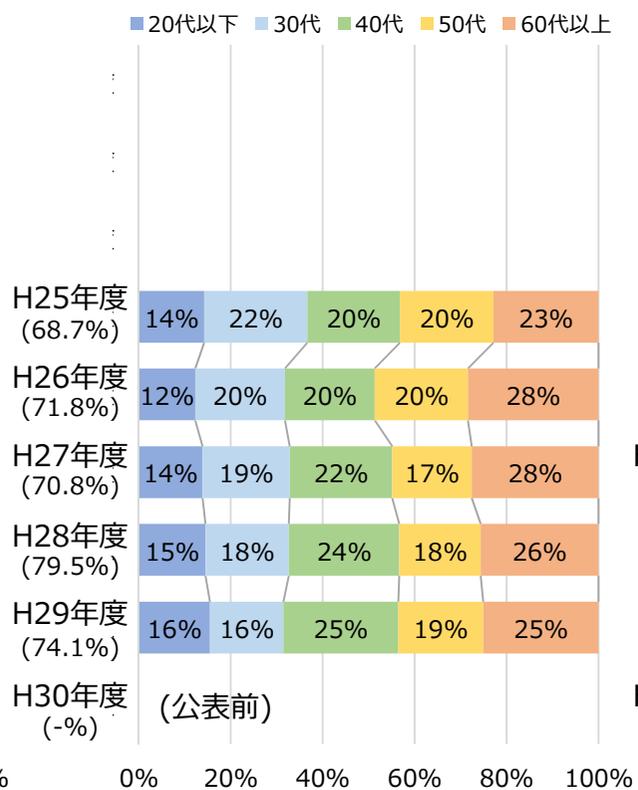
○新潟県の技能者は、50代の割合が減少傾向であるが、20代や30代に大きな変化はない。
 ○しかし、富山県や石川県では30代前後の技能者の割合が減少傾向である。

建設業の雇用者数(技能者)

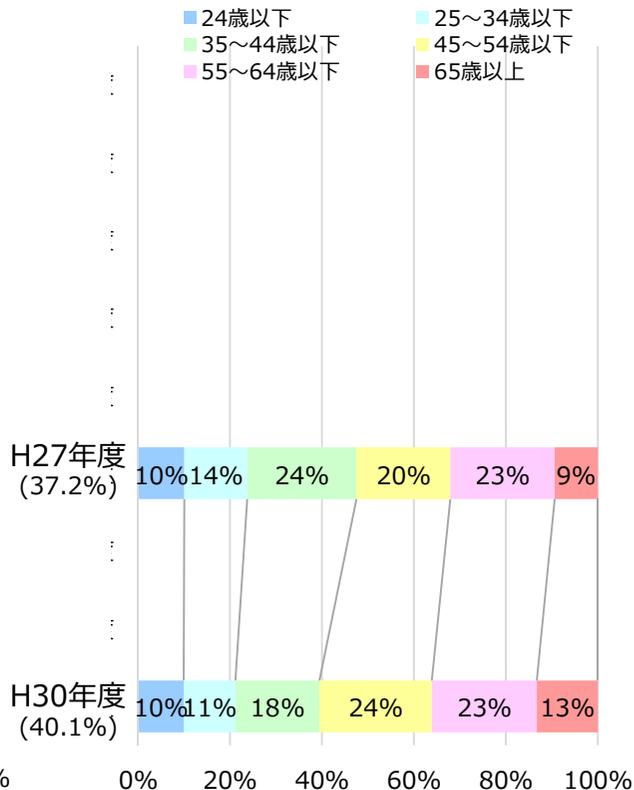
新潟県



富山県



石川県



3

出典.新潟県建設業協会、富山県建設業協会、石川県建設業協会の資料より

※.就業者数は、各県の建設業協会が県内会員企業に対してアンケートを実施して調査・公表を行っている。(石川県はH27年度とH30年度のみ)

※.年度下段カッコ内は、各年度に実施したアンケート回収率(回答社数÷会員企業)

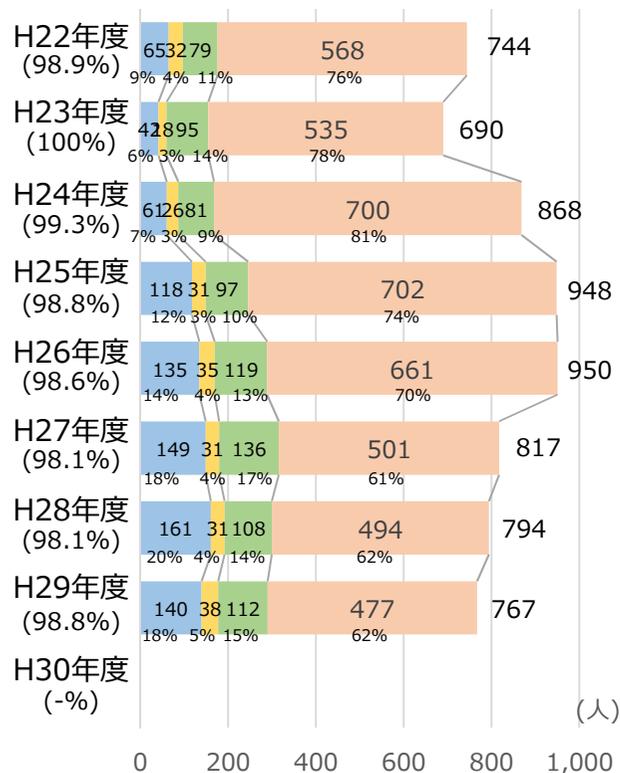
北陸地域の建設業に関する雇用状況について

- 建設業の採用者数は、新潟県と富山県はやや減少傾向、石川県はやや増加傾向となっている。
- 採用者の内訳として、新潟県と富山県では中途採用者が占める割合が高い。

建設業の採用者数(技術者+技能者)

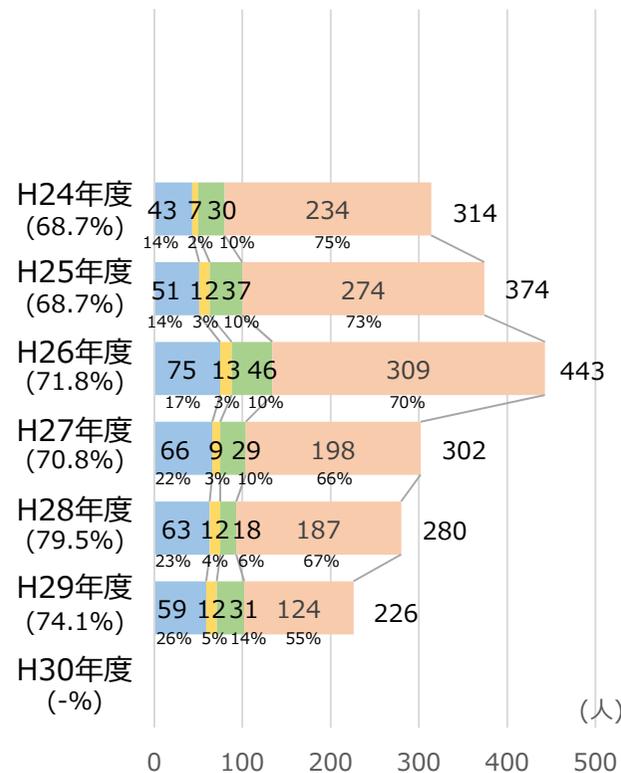
新潟県

■ 高校卒 ■ 短大・高専卒 ■ 大学等卒 ■ 中途



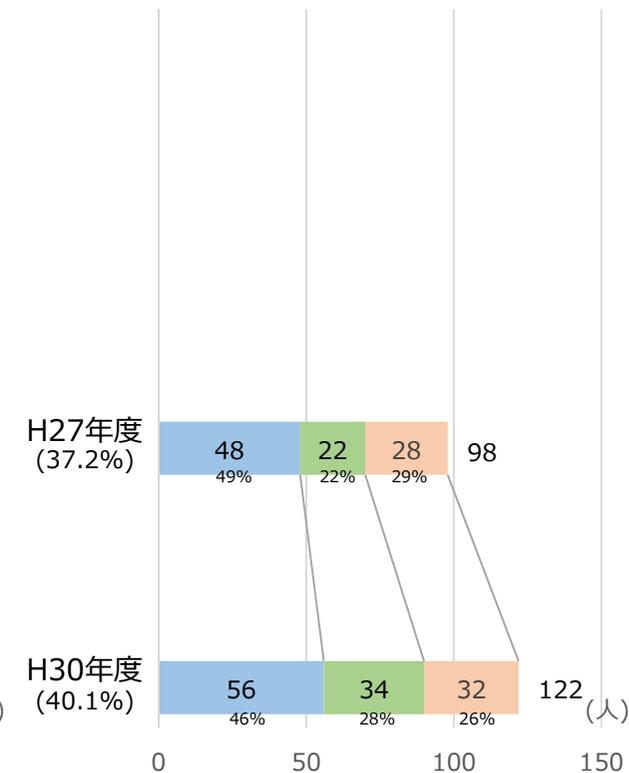
富山県

■ 高校卒 ■ 短大・高専卒 ■ 大学等卒 ■ 中途



石川県

■ 高校卒 ■ 大学等卒 ■ 中途



4

出典:新潟県建設業協会、富山県建設業協会、石川県建設業協会の資料より

※.新卒採用者数は、各県の建設業協会が県内会員企業に対してアンケートを実施して調査・公表を行っている。(石川県はH27年度とH30年度のみ)

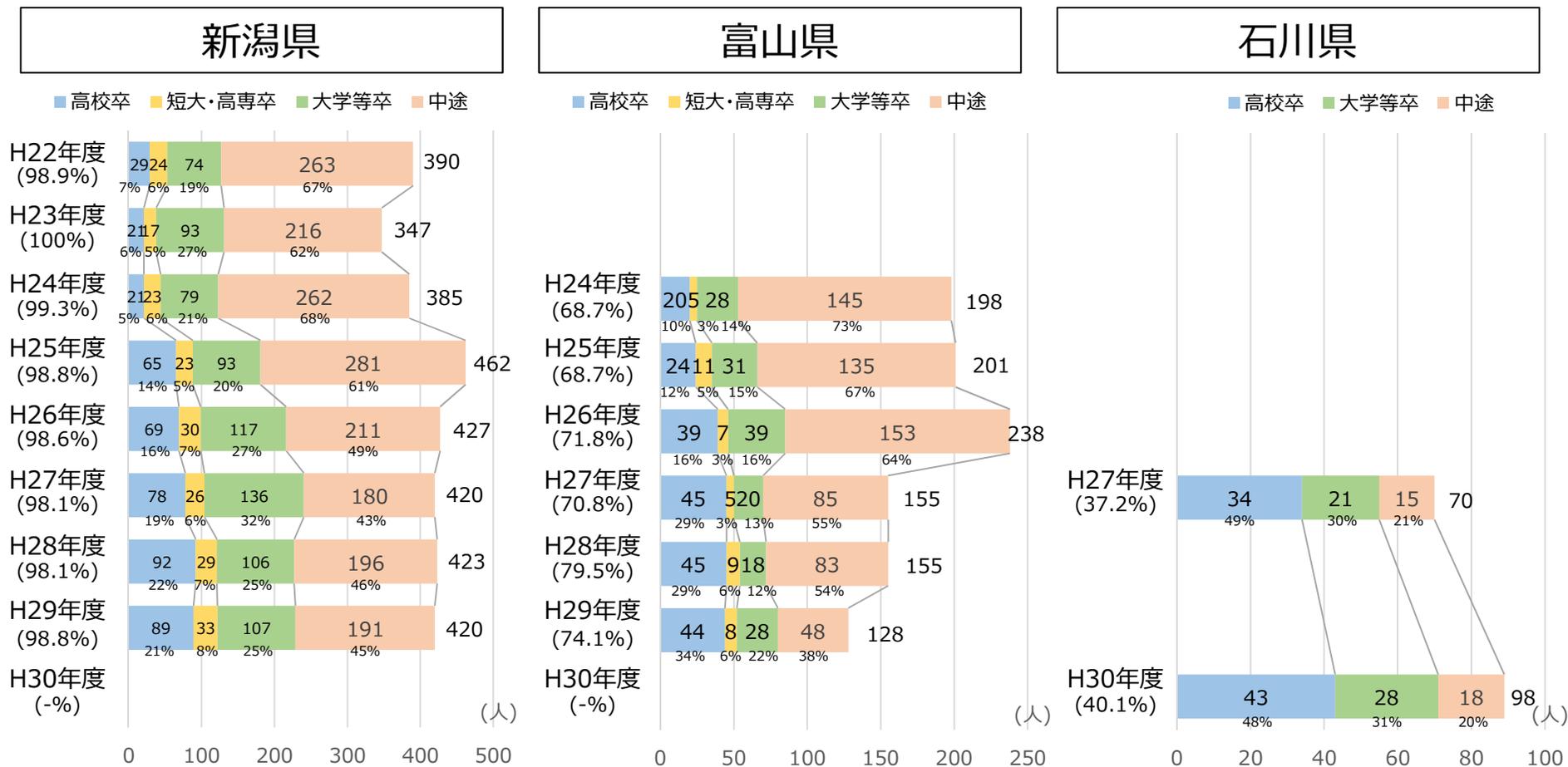
※.年度下段カッコ内は、各年度に実施したアンケート回収率(回答社数÷会員企業)

北陸地域の建設業に関する雇用状況について

○技術者の採用者数は、新潟県は横ばい、富山県はやや減少傾向、石川県はやや増加傾向となっている。
 ○技術者採用の内訳では、技能者と比較すると新卒採用者の割合が高くなる傾向が伺える。

建設業の採用者数(技術者)

5



出典:新潟県建設業協会、富山県建設業協会、石川県建設業協会の資料より

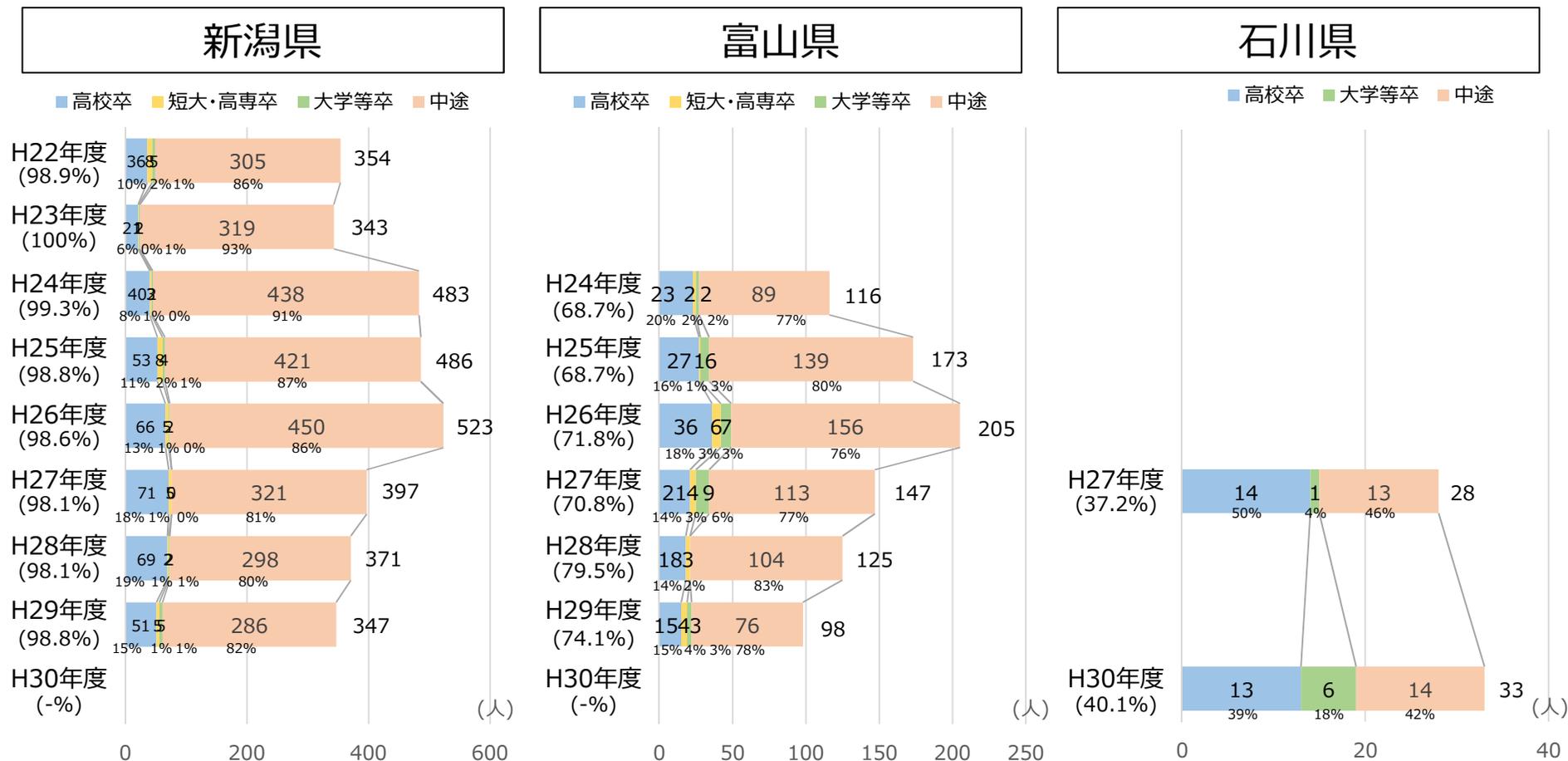
※.新卒採用者数は、各県の建設業協会が県内会員企業に対してアンケートを実施して調査・公表を行っている。(石川県はH27年度とH30年度のみ)

※.年度下段カッコ内は、各年度に実施したアンケート回収率(回答社数÷会員企業)

北陸地域の建設業に関する雇用状況について

- 技能者の採用者数は、新潟県と富山県は減少傾向、石川県は横ばい傾向となっている。
- 技能者採用の内訳では、技術者と比較すると中途採用者の割合が高い。

建設業の採用者数(技能者)



出典:新潟県建設業協会、富山県建設業協会、石川県建設業協会の資料より

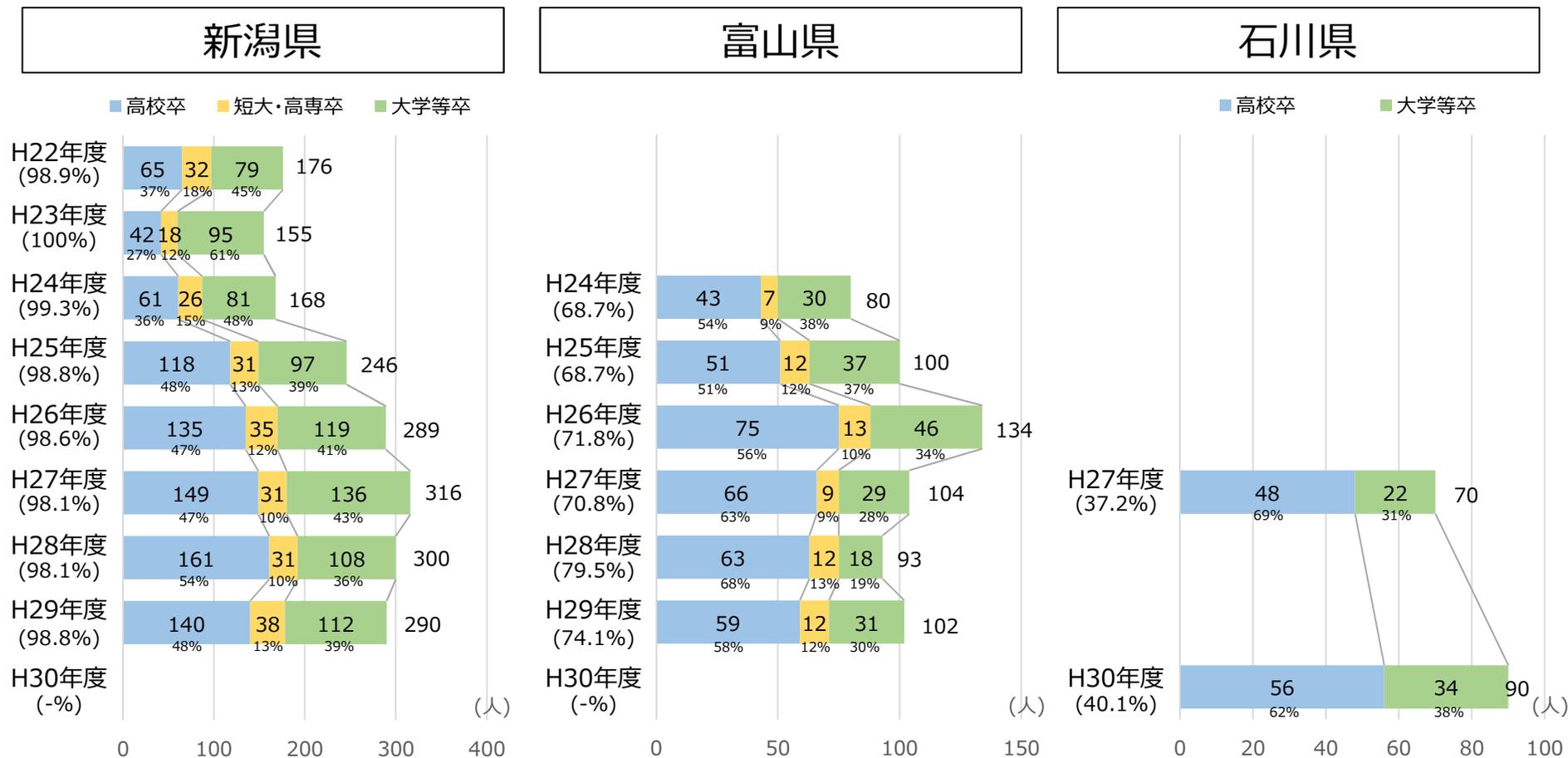
※.新卒採用者数は、各県の建設業協会が県内会員企業に対してアンケートを実施して調査・公表を行っている。(石川県はH27年度とH30年度のみ)

※.年度下段カッコ内は、各年度に実施したアンケート回収率(回答社数÷会員企業)

北陸地域の建設業に関する雇用状況について

- 建設業の新卒採用者数は新潟県や石川県で増加傾向で、積極的な新卒採用の状況が伺える。
- 新卒採用者の内訳では、大学等の新卒者よりも高校卒の新卒者を採用している割合が高い。

建設業の新卒採用者数(技術者+技能者)



出典:新潟県建設業協会、富山県建設業協会、石川県建設業協会の資料より

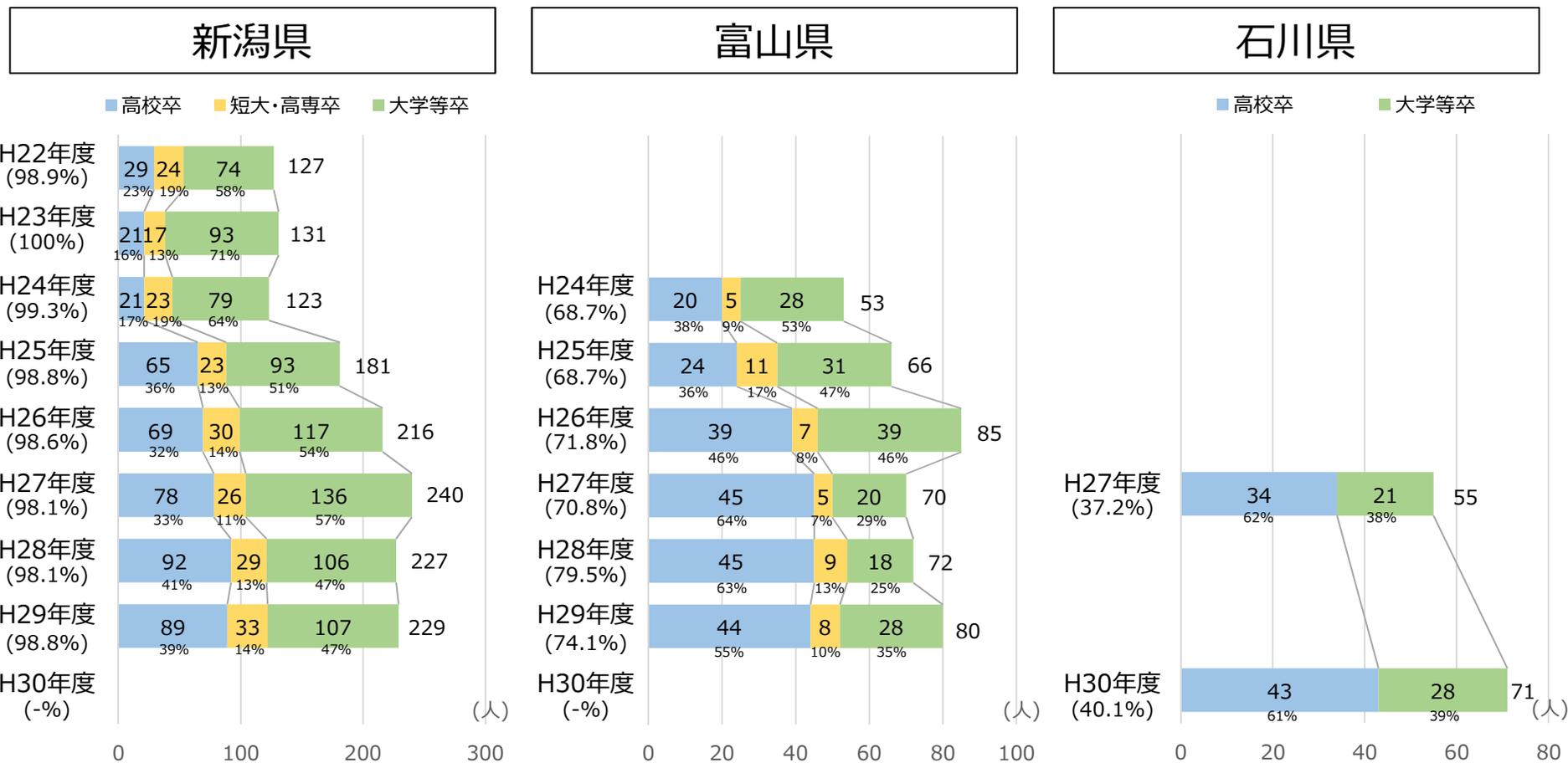
※.新卒採用者数は、各県の建設業協会が県内会員企業に対してアンケートを実施して調査・公表を行っている。(石川県はH27年度とH30年度のみ)

※.年度下段カッコ内は、各年度に実施したアンケート回収率(回答社数÷会員企業)

北陸地域の建設業に関する雇用状況について

- 技術者の新卒採用者数は新潟県や石川県で増加傾向で、積極的な新卒採用の状況が伺える。
- 新潟県では大学等の新卒者を、富山県・石川県では高校の新卒者を採用する割合が高い。

建設業の新卒採用者数(技術者)



出典:新潟県建設業協会、富山県建設業協会、石川県建設業協会の資料より

※.新卒採用者数は、各県の建設業協会が県内会員企業に対してアンケートを実施して調査・公表を行っている。(石川県はH27年度とH30年度のみ)

※.年度下段カッコ内は、各年度に実施したアンケート回収率(回答社数÷会員企業)

北陸地域の建設業に関する雇用状況について

- 技能者の新卒採用者数は新潟県や富山県で減少傾向で、新卒採用に苦慮している状況が伺える。
- 技術者と比較して、高校卒の新卒者を採用する割合がい。

建設業の新卒採用者数(技能者)

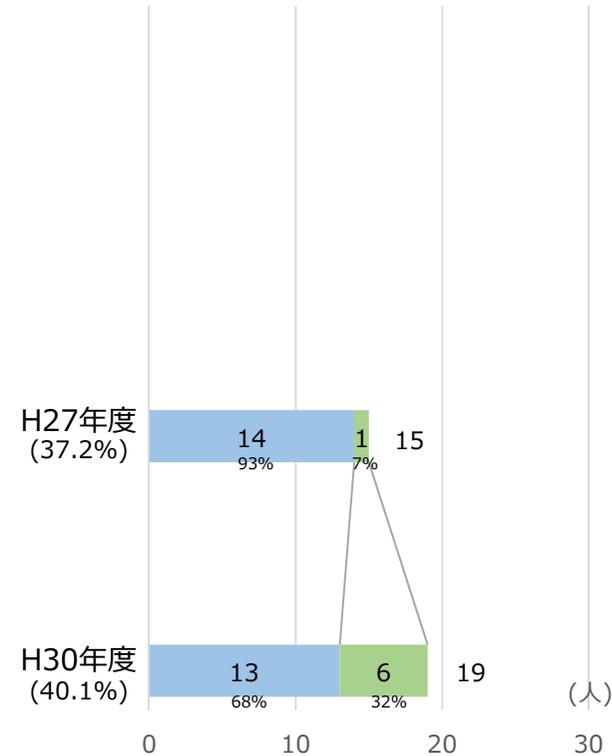
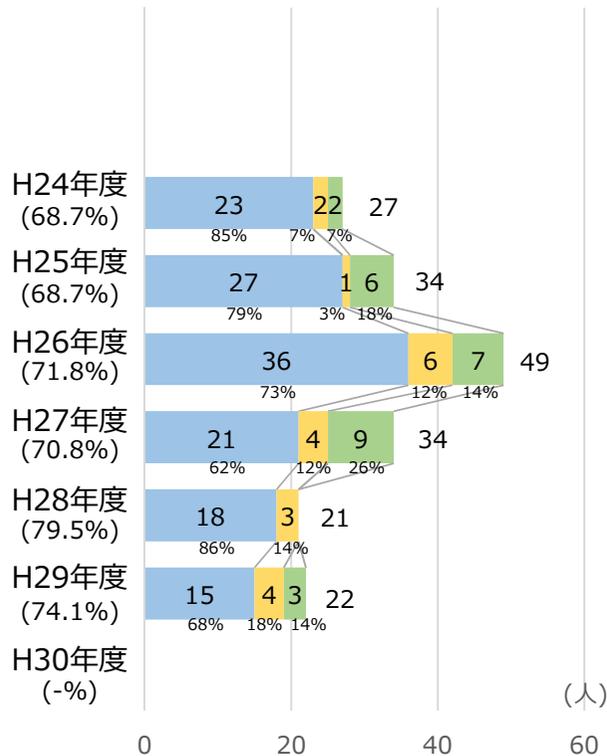
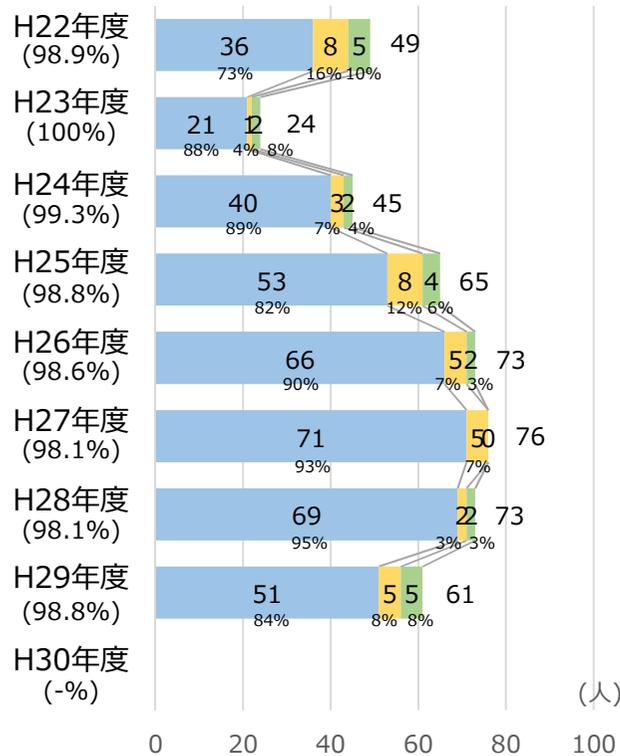
新潟県

富山県

石川県

■ 高校卒 ■ 短大・高専卒 ■ 大学等卒

■ 高校卒 ■ 大学等卒



6

出典:新潟県建設業協会、富山県建設業協会、石川県建設業協会の資料より

※.新卒採用者数は、各県の建設業協会が県内会員企業に対してアンケートを実施して調査・公表を行っている。(石川県はH27年度とH30年度のみ)

※.年度下段カッコ内は、各年度に実施したアンケート回収率(回答社数÷会員企業)

北陸地域の建設業に関する雇用状況について

○担い手となる若手技術者等を確保するため、建設業の求人数は年々増加傾向である。
 ○一方、充足率(採用/求人)は減少傾向であり、若手技術者の確保に苦慮している状況が伺える。

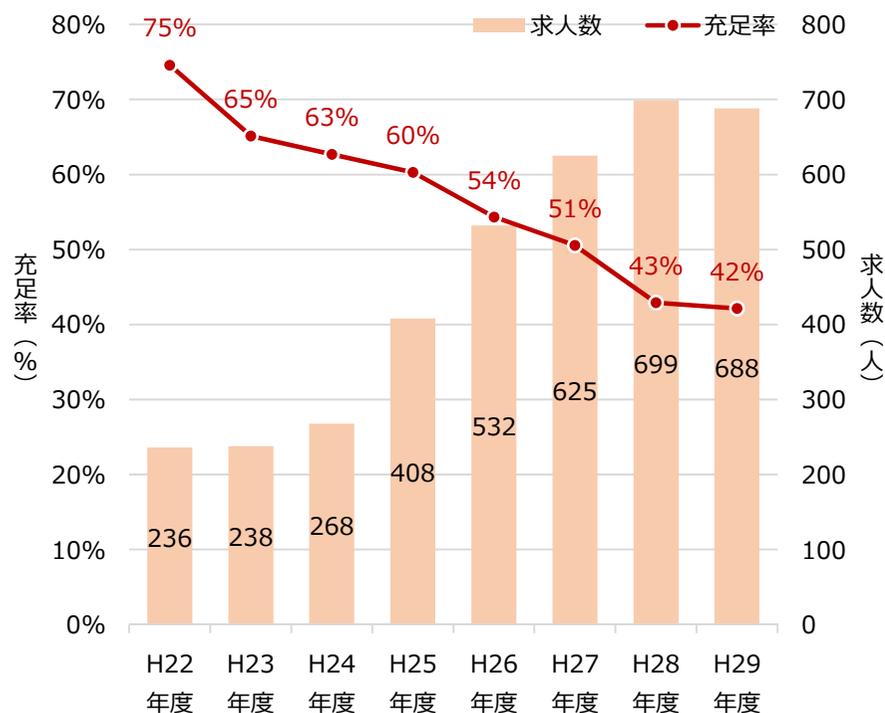
建設業新卒採用の充足率(技術者+技能者)

充足率 = 求人数に対する採用数

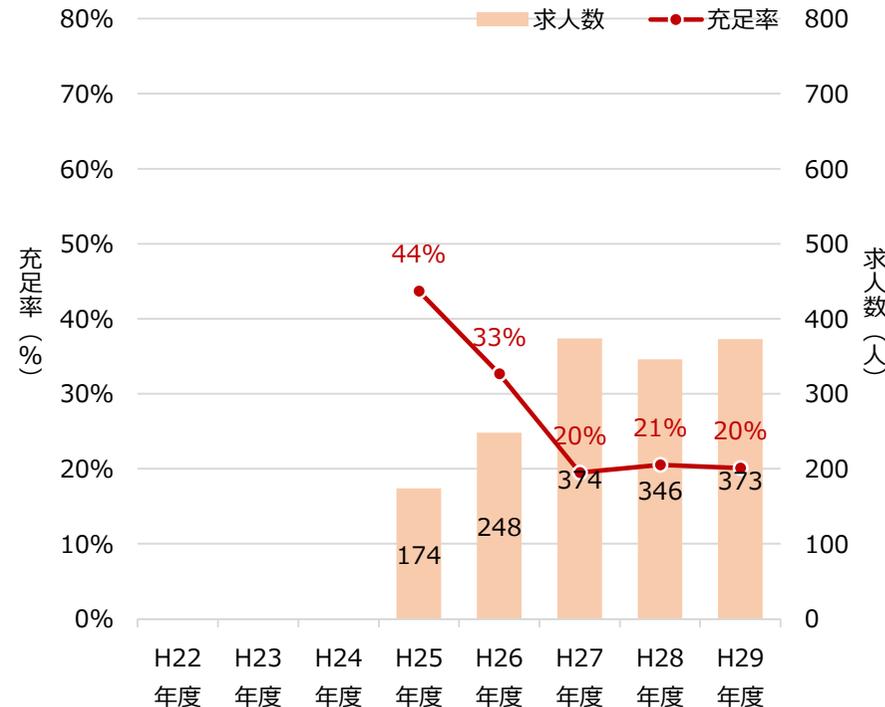
※石川県は未調査(公表値なし)

【新卒採用の全体】(技術者+技能者)

新潟県



富山県



出典:新潟県建設業協会、富山県建設業協会の資料より

※.新卒採用者数及び求人数は、各県の建設業協会が県内会員企業に対してアンケートを実施して調査・公表を行っている。

※.富山県の充足率は、求人数の回答があった企業の採用数で算定している。

北陸地域の建設業に関する雇用状況について

- 近年の高校卒や大学卒の充足率は、新潟県では約5割、富山県では約2割となっている。
- 短大・高専卒の充足率は、高卒や大学卒よりも低く、新潟県では約3割、富山県では約1割となっている。

建設業新卒採用の充足率（技術者+技能者）

充足率 = 求人数に対する採用数

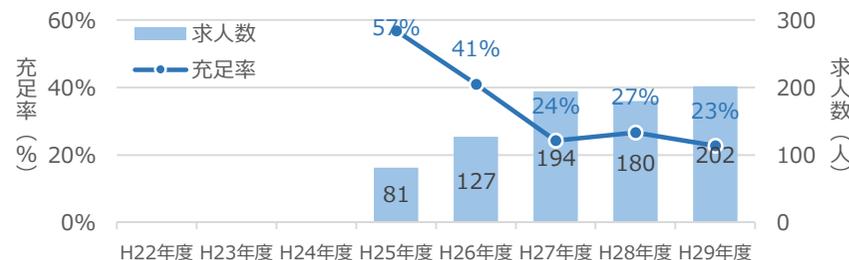
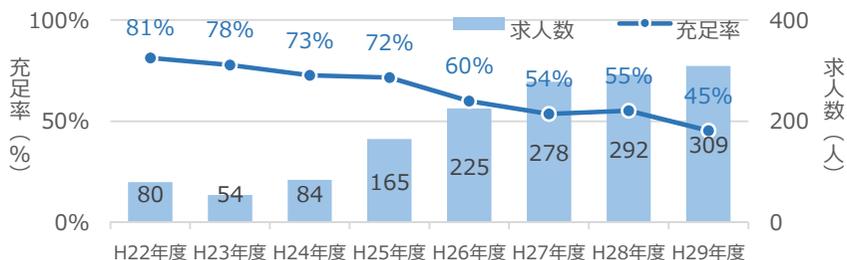
【新卒採用の最終学歴別】（技術者+技能者）

※石川県は未調査(公表値なし)

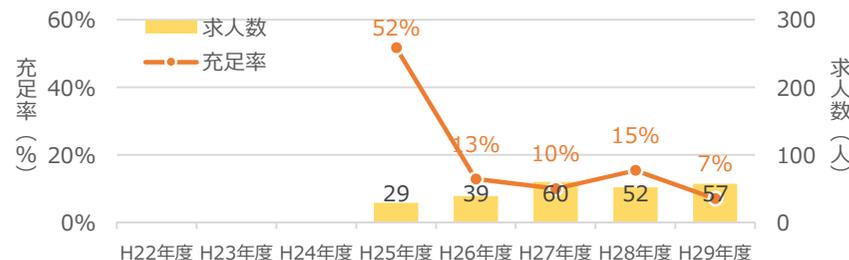
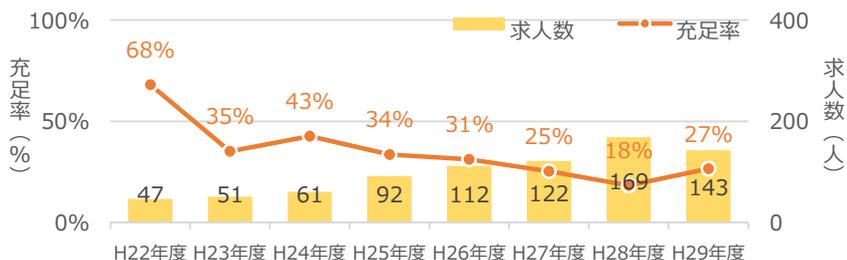
新潟県

富山県

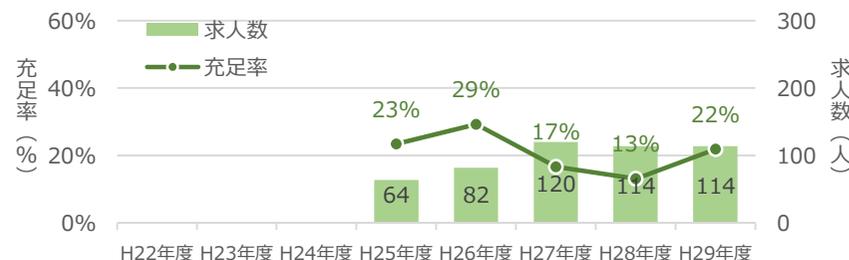
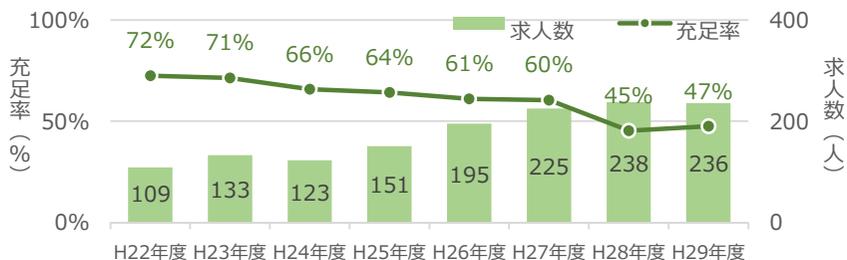
高校卒



短大・高専卒



大学等卒



出典:新潟県建設業協会、富山県建設業協会の資料より

※:新卒採用者数及び求人数は、各県の建設業協会が県内会員企業に対してアンケートを実施して調査・公表を行っている。

※:富山県の充足率は、求人数の回答があった企業の採用数で算定している。

北陸地域の建設業に関する雇用状況について

○担い手となる若手技術者等を確保するため、技術者の求人数は年々増加傾向である。
 ○一方、充足率(採用/求人)は減少傾向であり、技術者の確保に苦慮している状況が伺える。

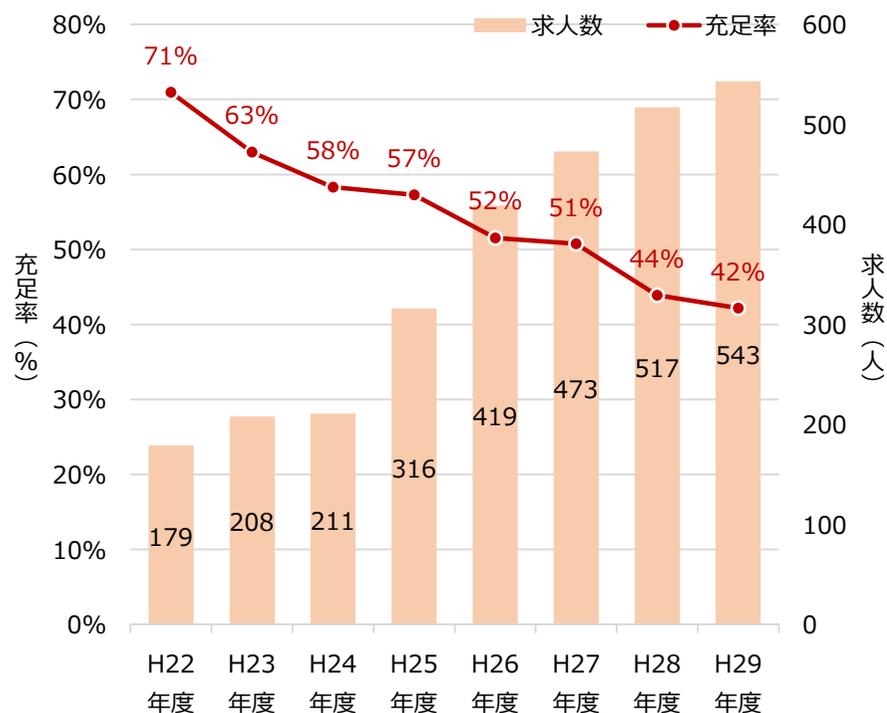
建設業新卒採用の充足率(技術者)

充足率 = 求人数に対する採用数

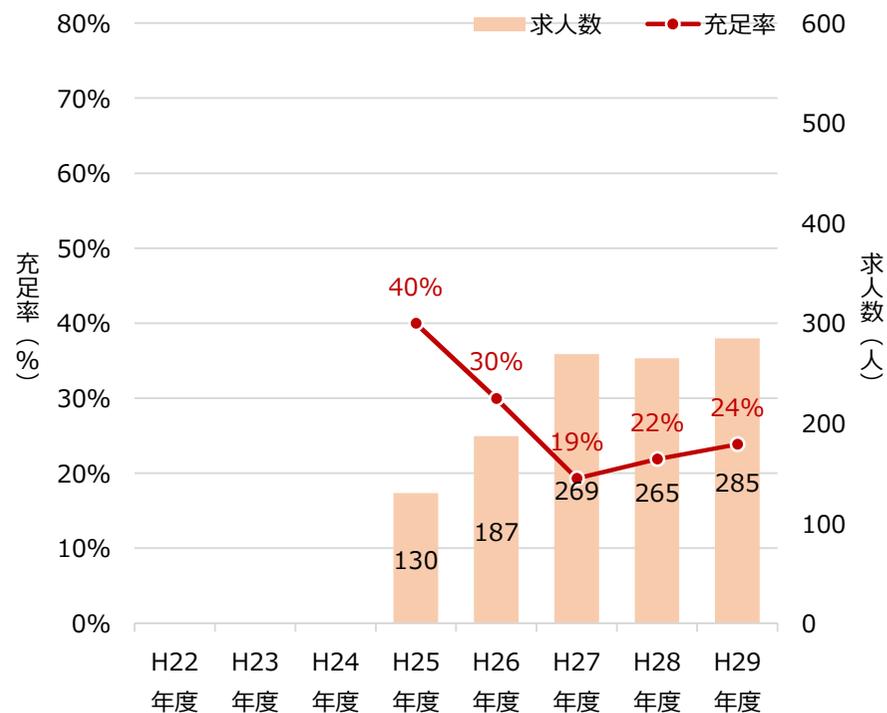
※石川県は未調査(公表値なし)

【新卒採用の全体】(技術者)

新潟県



富山県



出典.新潟県建設業協会、富山県建設業協会の資料より

※.新卒採用者数及び求人数は、各県の建設業協会が県内会員企業に対してアンケートを実施して調査・公表を行っている。

※.富山県の充足率は、求人数の回答があった企業の採用数で算定している。

北陸地域の建設業に関する雇用状況について

- 近年の高校卒や大学卒の充足率は、新潟県では約5割、富山県では約2～3割となっている。
- 短大・高専卒の充足率は、高卒や大学卒よりも低く、新潟県では約3割、富山県では約1割となっている。

建設業新卒採用の充足率(技術者)

充足率 = 求人数に対する採用数

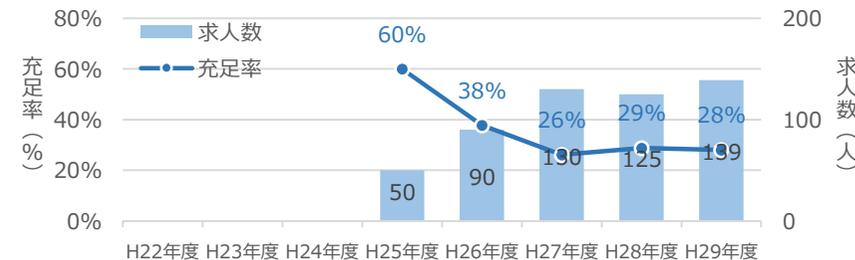
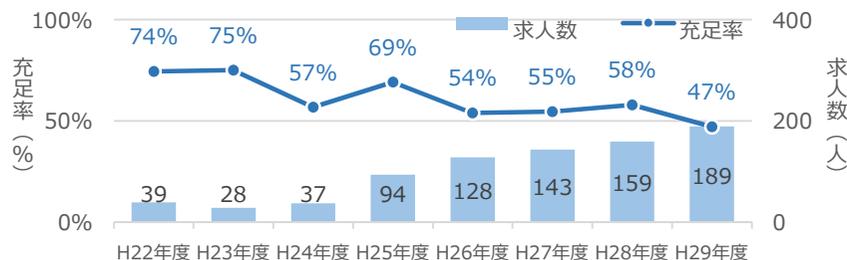
【新卒採用の最終学歴別】(技術者)

※石川県は未調査(公表値なし)

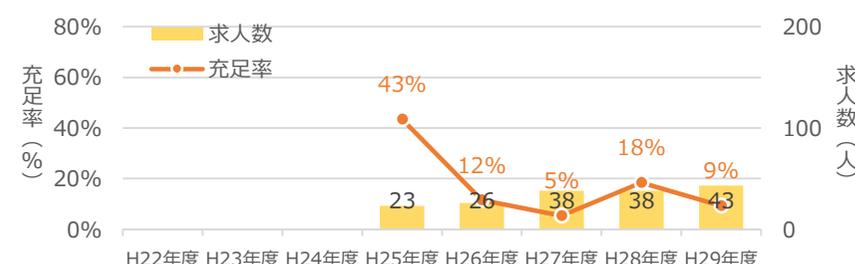
新潟県

富山県

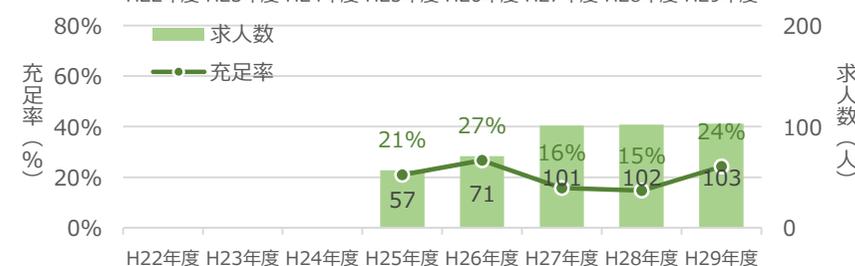
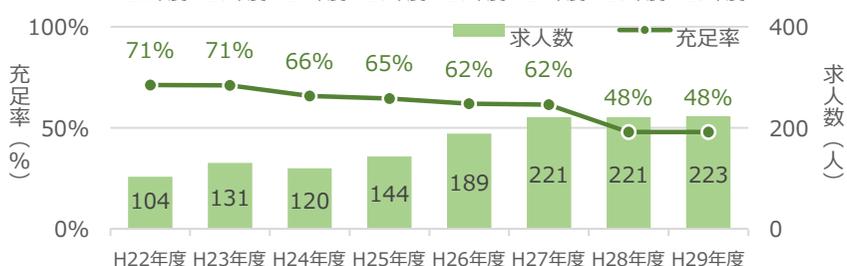
高校卒



短大・高専卒



大学等卒



出典:新潟県建設業協会、富山県建設業協会の資料より

※:新卒採用者数及び求人数は、各県の建設業協会が県内会員企業に対してアンケートを実施して調査・公表を行っている。

※:富山県の充足率は、求人数の回答があった企業の採用数で算定している。

北陸地域の建設業に関する雇用状況について

○技能者の充足率(採用/求人)は減少傾向であり、技能者の確保に苦慮している状況が伺える。
 ○また、技術者とは異なり、技能者の求人数(H29年度)も減少している傾向も伺える。

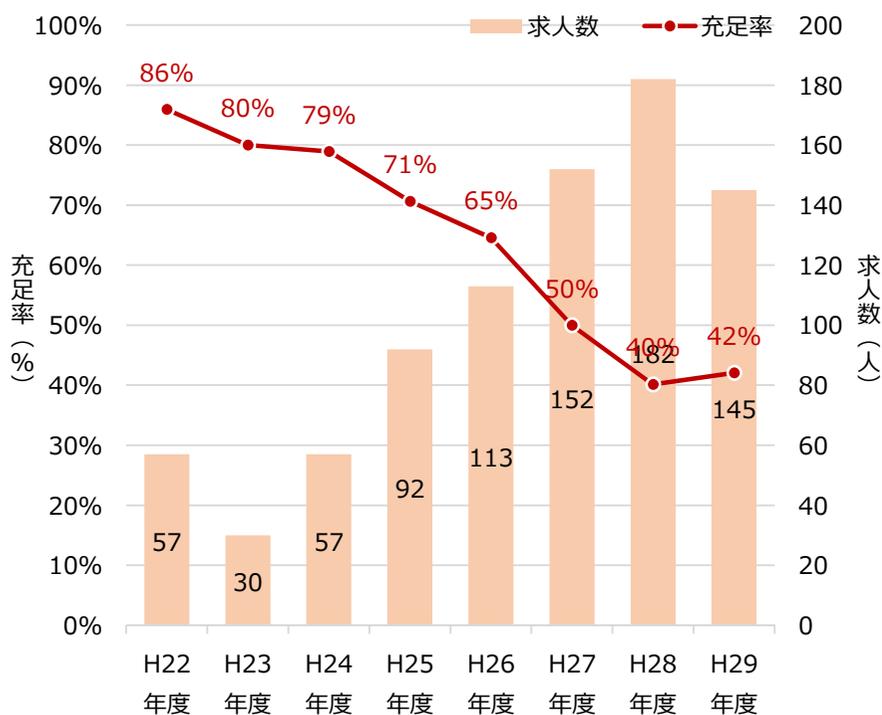
建設業新卒採用の充足率(技能者)

充足率 = 求人数に対する採用数

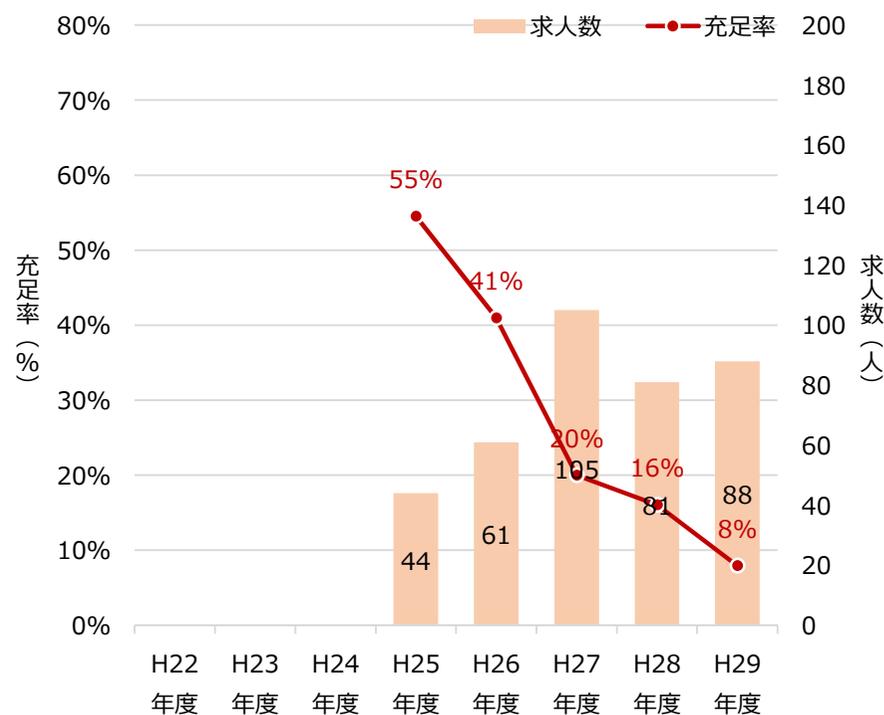
※石川県は未調査(公表値なし)

【新卒採用の全体】(技能者)

新潟県



富山県



出典:新潟県建設業協会、富山県建設業協会の資料より

※.新卒採用者数及び求人数は、各県の建設業協会が県内会員企業に対してアンケートを実施して調査・公表を行っている。

※.富山県の充足率は、求人数の回答があった企業の採用数で算定している。

北陸地域の建設業に関する雇用状況について

○近年の高校卒の充足率は、新潟県では約4割、富山県では約1割となっている。
 ○一方、新潟県では、短大・高専卒や大学等卒の求人数が減少しているため、充足率がやや増加している。

建設業新卒採用の充足率(技能者)

充足率 = 求人数に対する採用数

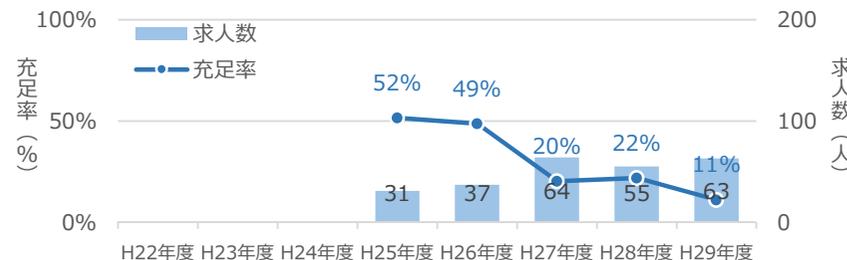
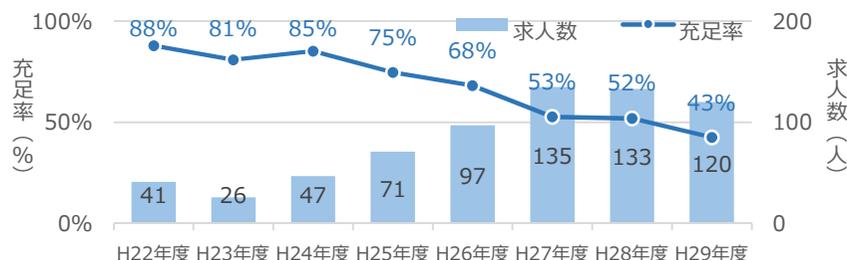
【新卒採用の最終学歴別】(技能者)

※石川県は未調査(公表値なし)

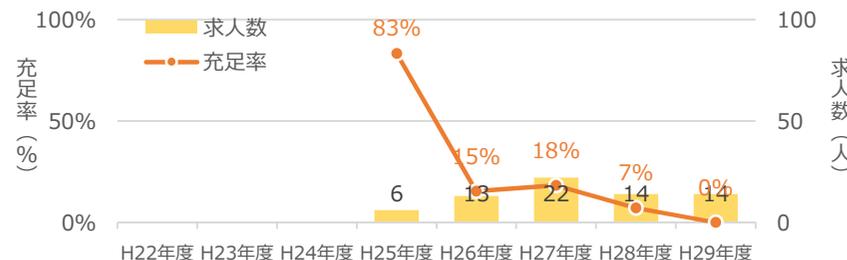
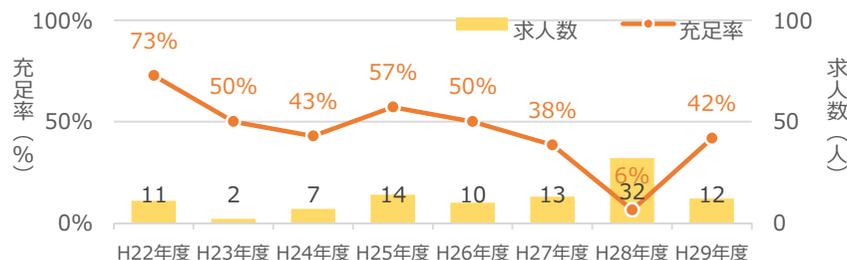
新潟県

富山県

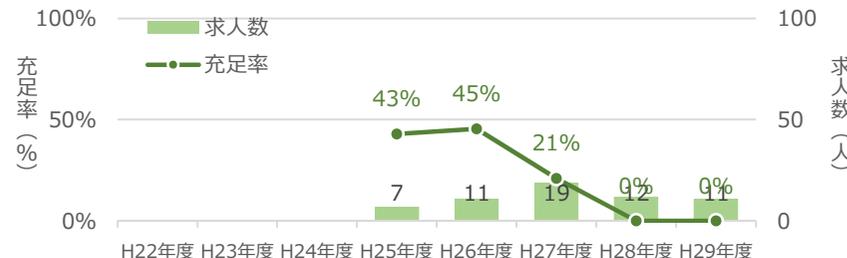
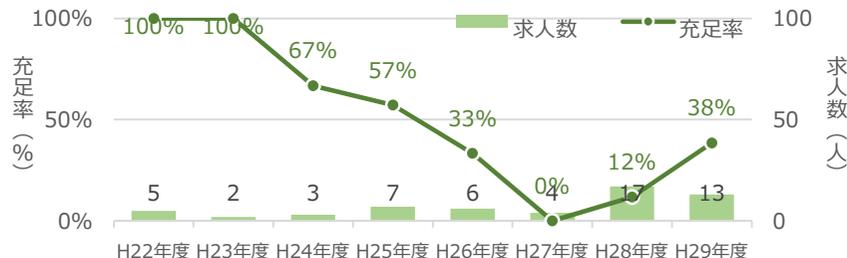
高校卒



短大・高専卒



大学等卒



出典:新潟県建設業協会、富山県建設業協会の資料より

※:新卒採用者数及び求人数は、各県の建設業協会が県内会員企業に対してアンケートを実施して調査・公表を行っている。

※:富山県の充足率は、求人数の回答があった企業の採用数で算定している。

北陸地域の建設業に関する雇用状況について

○富山県の若手技術者等のうち、高校卒は約5割、大学卒は約7割が建設系学科の卒業生となる。
 ○一方、石川県の新卒採用のうち、大学卒の約4割は建設系以外となり、近年の求人拡大が伺える。

建設業の採用者最終学歴（技術者+技能者）

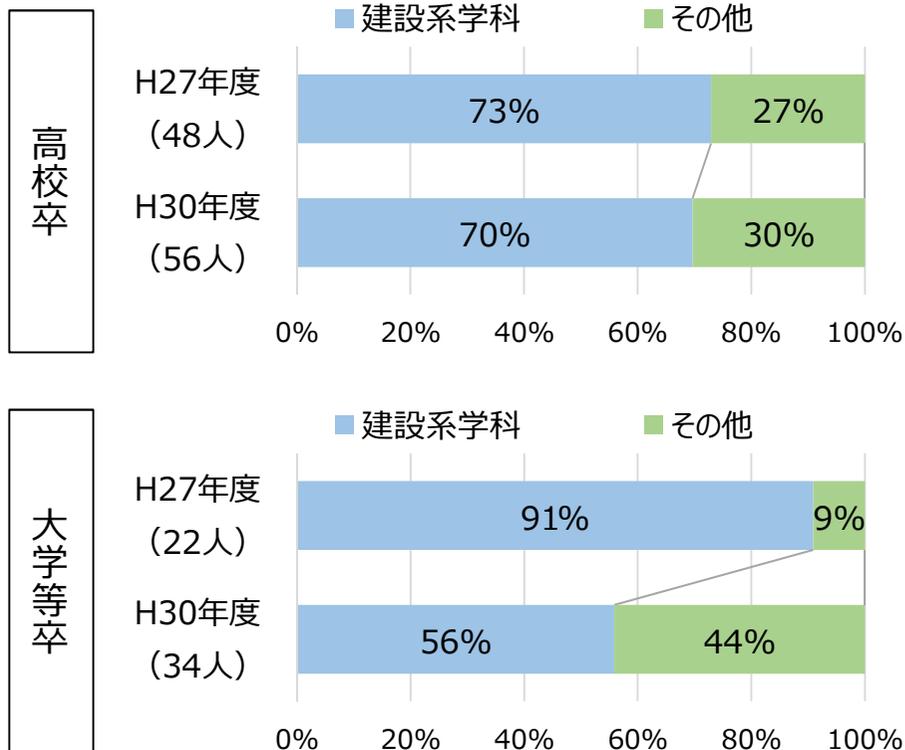
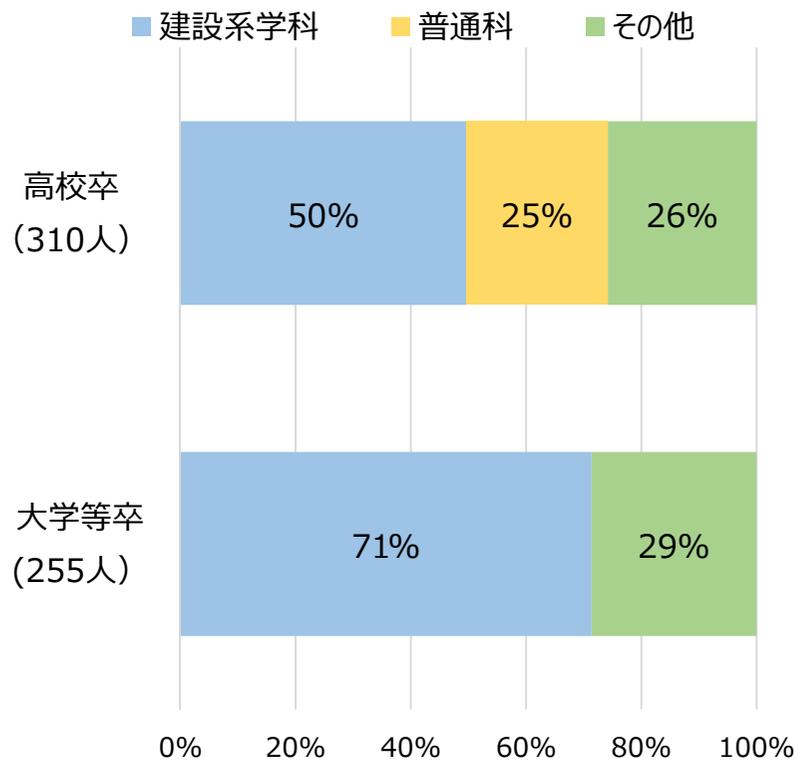
※新潟県は未調査(公表値なし)

富山県

石川県

【40歳未満の技術者と技能者】 ※H29年度調査

【新卒の技術者と技能者】



出典. 富山県建設業協会、石川県建設業協会の資料より

※.最終学歴は、各県の建設業協会が県内会員企業に対してアンケートを実施して調査・公表を行っている。(石川県はH27年度とH30年度のみ)

※.富山県の調査結果は40歳未満の技術職・技能職、石川県の調査結果は新卒採用の技術職・技能職を対象としている。

北陸地域の建設業に関する雇用状況について

- 石川県の新卒技術者は、建設系学科の卒業者が多い。
- 石川県の新卒技能者は、建設系学科とその他の卒業者がほぼ同程度となっている。

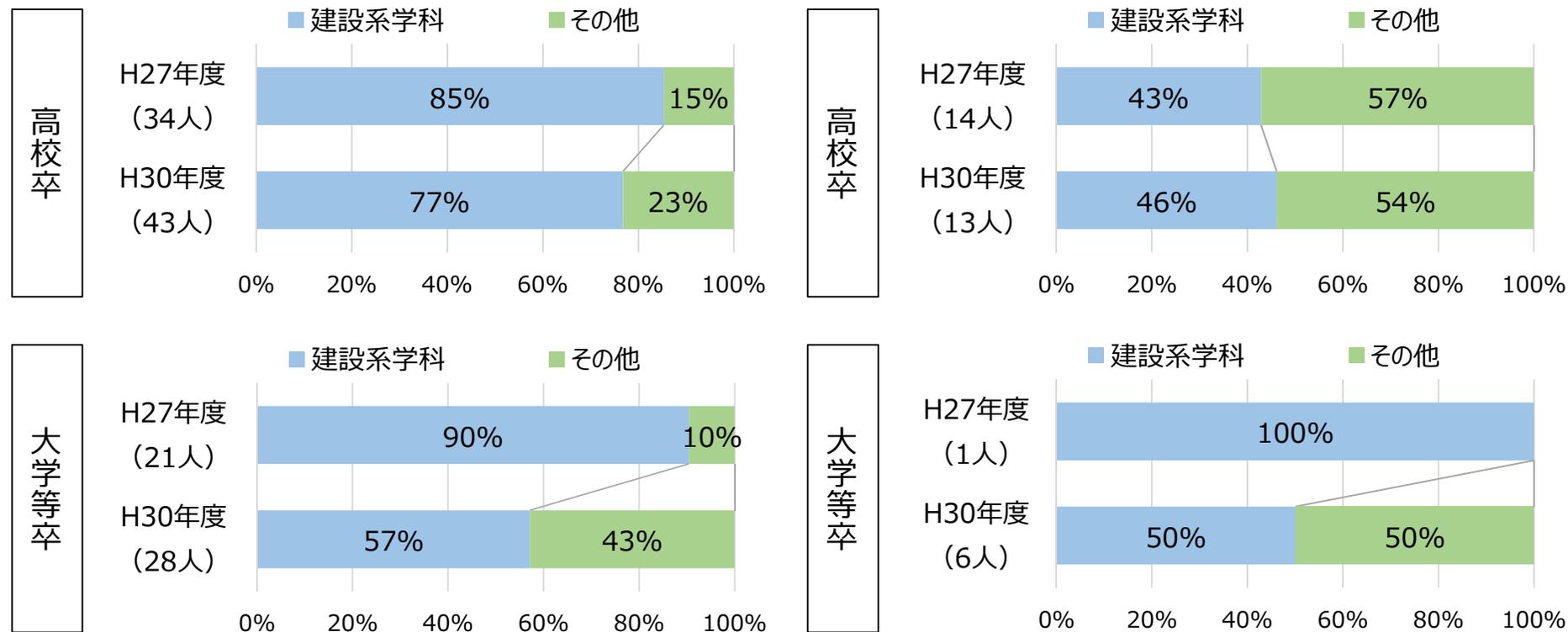
建設業の採用者最終学歴（職種別）

石川県

【新卒技術者】

【新卒技能者】

17



出典. 富山県建設業協会、石川県建設業協会の資料より

※.最終学歴は、各県の建設業協会が県内会員企業に対してアンケートを実施して調査・公表を行っている。(石川県はH27年度とH30年度のみ)

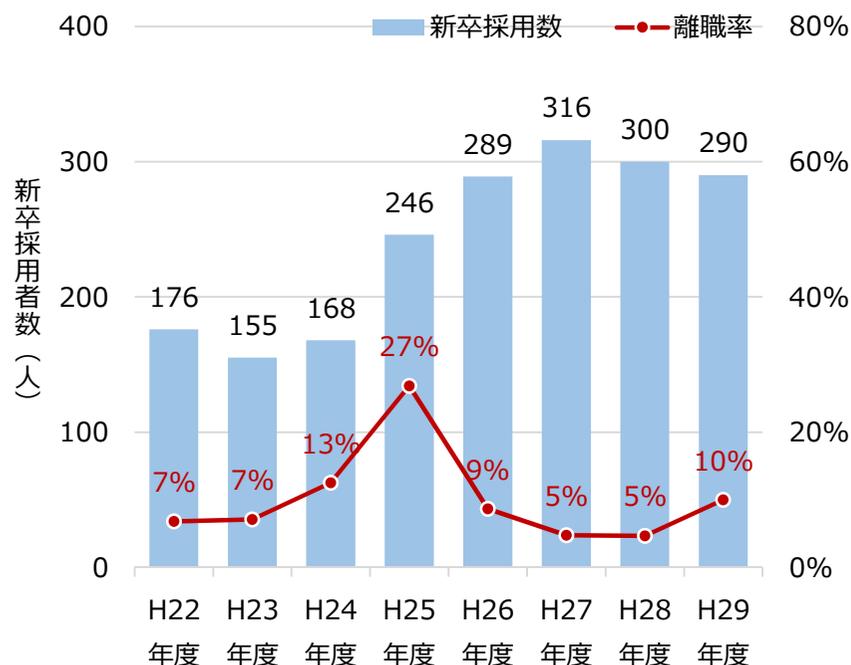
※.富山県の調査結果は40歳未満の技術職・技能職、石川県の調査結果は新卒採用の技術職・技能職を対象としている。

北陸地域の建設業に関する雇用状況について

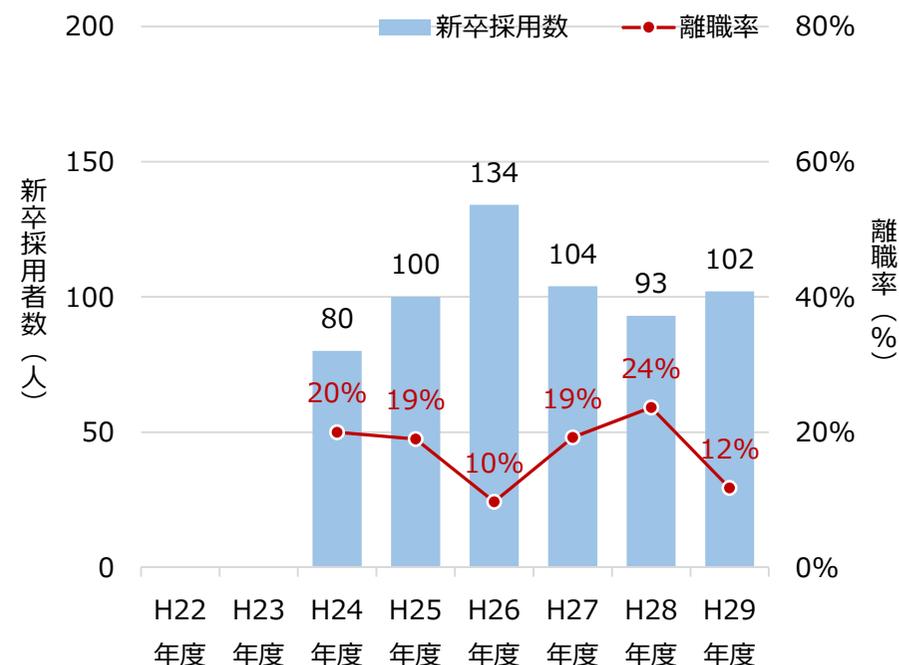
- 建設業に入職した年度に離職する割合は、新潟県ではH25年度には約3割にまで達していた。
- 近年では離職率が減少している傾向が伺えるが、約1割が入職年に離職している。

建設業新卒採用の離職率（技術者+技能者） → 離職率は入職年に退職した者の割合 ※石川県は未調査(公表値なし)

新潟県



富山県



出典:新潟県建設業協会、富山県建設業協会の資料より

※.離職者数は、各県の建設業協会が県内会員企業に対してアンケートを実施して調査・公表を行っている。

※.新潟県は各年度10月1日時点の在職率(離職率)、富山県は入職年度内の離職率(H26年度とH29年度は調査時点の離職数)

北陸地域の建設業に関する雇用状況について

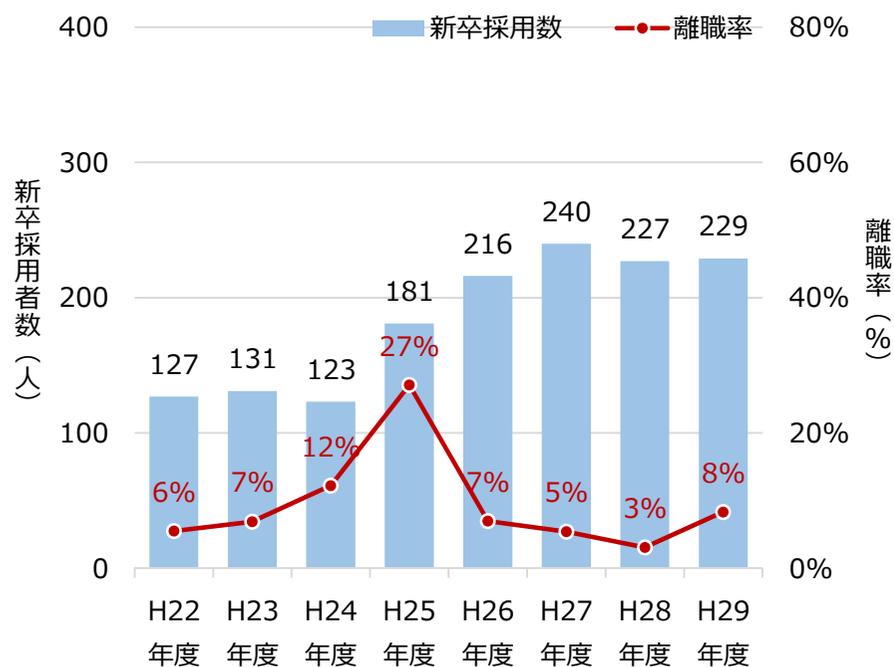
- 建設業(技術者)に入職した年度に離職する割合は、新潟県ではH25年度には約3割にまで達していた。
- 近年では離職率が減少している傾向が伺えるが、約1割が入職年に離職している。

建設業新卒採用の離職率（技術者）

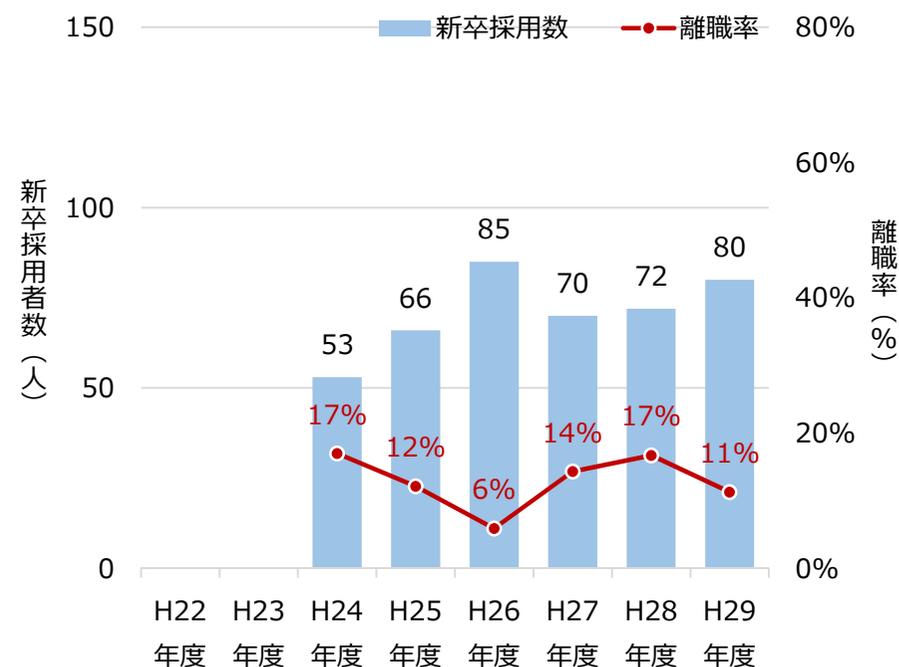
→ 離職率は入職年に退職した者の割合

※石川県は未調査(公表値なし)

新潟県



富山県



出典:新潟県建設業協会、富山県建設業協会の資料より

※.離職者数は、各県の建設業協会が県内会員企業に対してアンケートを実施して調査・公表を行っている。

※.新潟県は各年度10月1日時点の在職率(離職率)、富山県は入職年度内の離職率(H26年度とH29年度は調査時点の離職数)

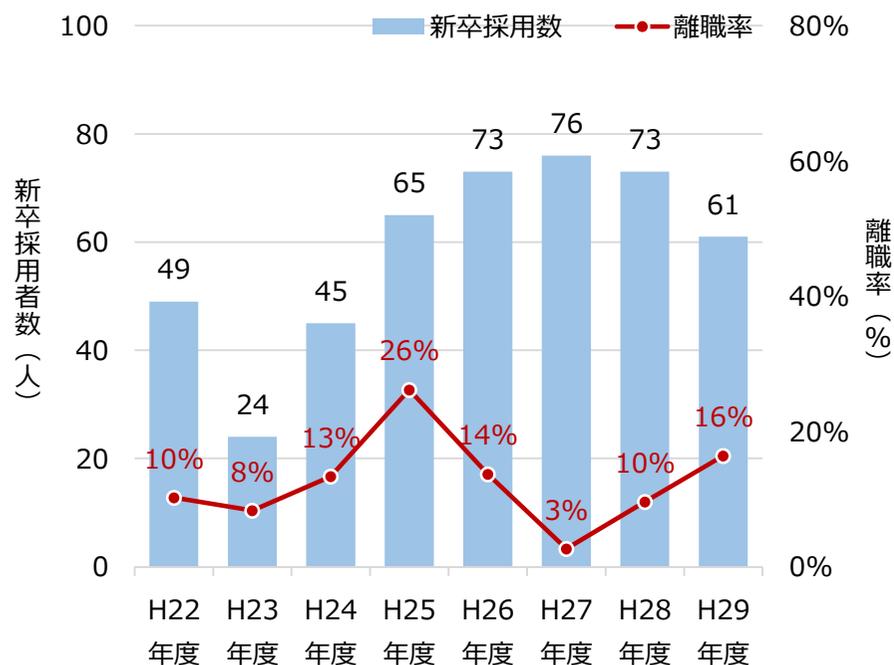
北陸地域の建設業に関する雇用状況について

- 建設業(技能者)に入職した年度に離職する割合は、新潟県ではH25年度には約3割にまで達していた。
- 近年では離職率が減少している傾向が伺えるが、約1～2割が入職年に離職している。

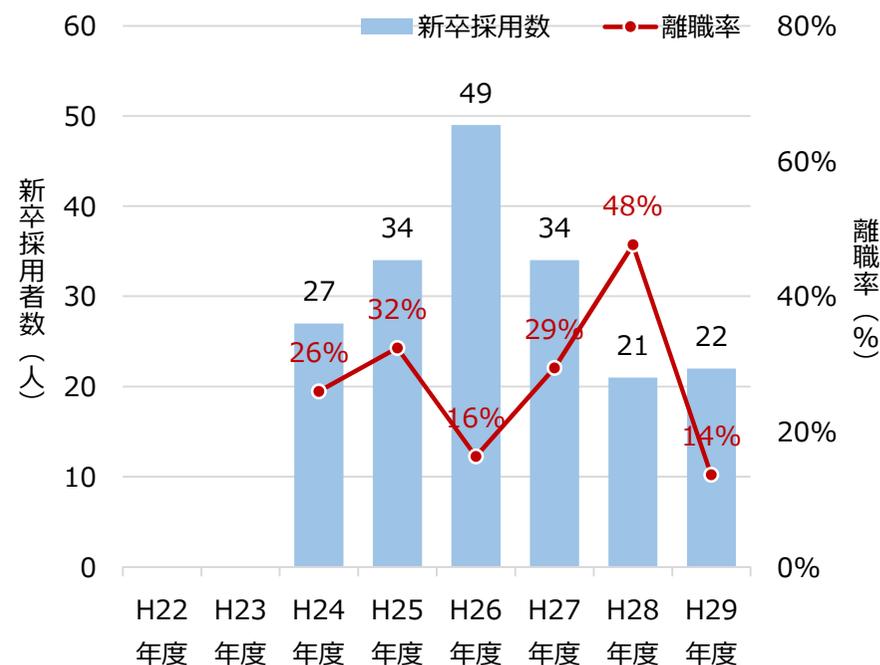
建設業新卒採用の離職率（技能者）

→ 離職率は入職年に退職した者の割合
 ※石川県は未調査(公表値なし)

新潟県



富山県



出典:新潟県建設業協会、富山県建設業協会の資料より

※.離職者数は、各県の建設業協会が県内会員企業に対してアンケートを実施して調査・公表を行っている。

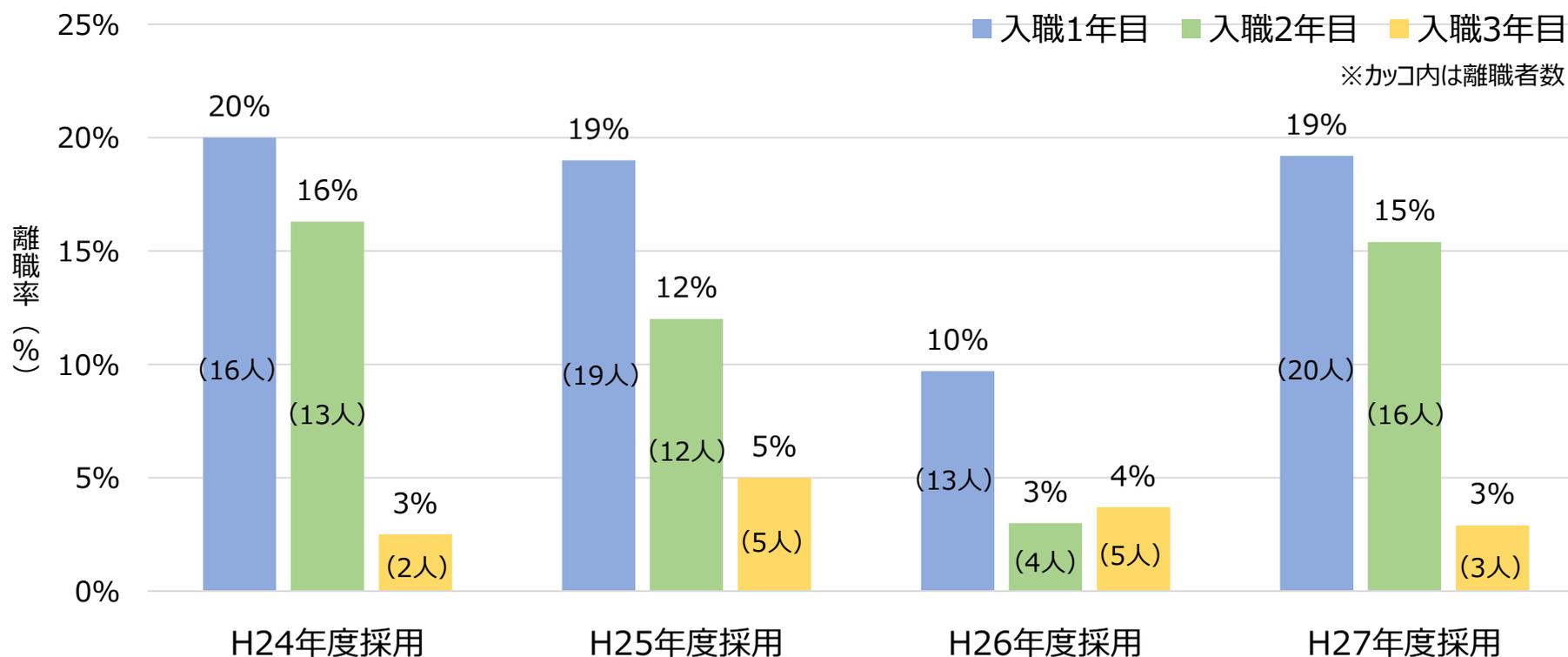
※.新潟県は各年度10月1日時点の在職率(離職率)、富山県は入職年度内の離職率(H26年度とH29年度は調査時点の離職数)

北陸地域の建設業に関する雇用状況について

- 建設業に入職した後、1～2年後に離職する割合は、約2割となっている年度が多い。
- 一方、入職3年後まで経過すると離職率が低下している。

建設業新卒採用の入職経過年別の離職率（技術者+技能者）

富山県



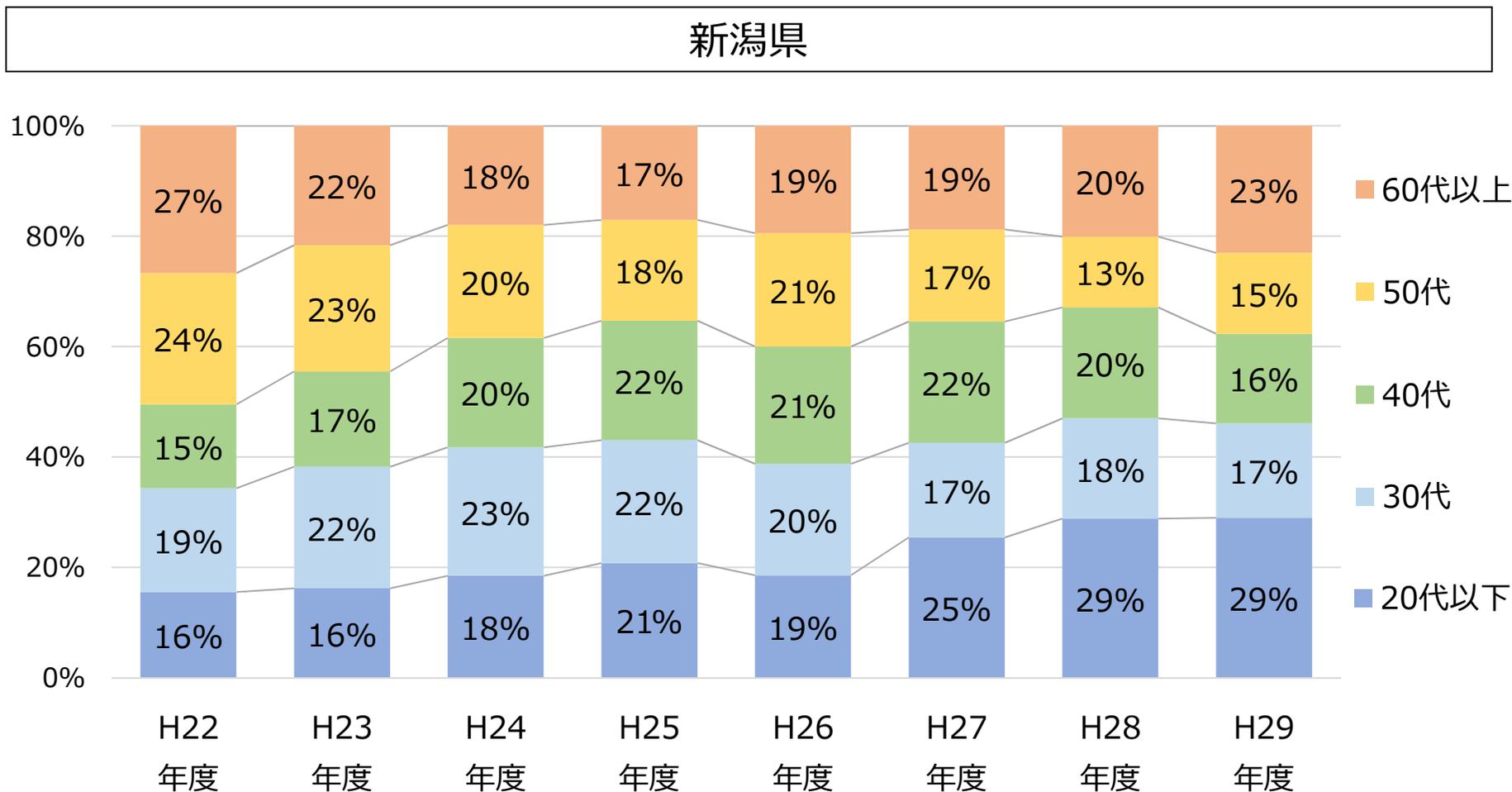
出典. 富山県建設業協会の資料より

※.離職者数は、建設業協会が県内会員企業に対してアンケートを実施して調査・公表を行っている。

北陸地域の建設業に関する雇用状況について

- 年代別の建設業離職者の推移をみると、20代の離職割合が増加している傾向が伺える。
- 20代の離職者が多い点が、担い手不足を招く一因と考えられる。(30代雇用割合が年々減少する要因)

建設業離職者の年代（技術者+技能者）



出典.新潟県建設業協会の資料より

※.H25年度までは、前年10月1日から当年度9月30日までに離職した常用雇用者数(定年退職は除く)

※.H26年度からは、前年1月1日から当年度の12月31日までに退職した常用雇用者数(定年退職は除く)